

第6回

公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク
東日本大震災 伝承シンポジウム in 山元

つながりあって伝えあう

～学校被災の伝承から考える～

参加
無料

2024 2.17 (土) 13:45～17:30

山元町防災拠点・山下地域交流センター
つばめの杜ひだまりホール

Youtube
ライブ配信

県域を越えた伝承

宮城県山元町中浜小学校、福島県浪江町請戸小学校、岩手県陸前高田市高田小学校での学校被災の経験を伝えあい、発災当時の様子を語り継ぐ活動を共有する。県域を越えたつながりを見いだすと共に、災害で命が失われない未来に向けて、学校現場や地域での多様な教訓伝承の可能性を議論する。



岩手県・陸前高田市立高田小学校



宮城県・山元町立中浜小学校



福島県・浪江町立請戸小学校

震災遺構としての学校をつなぐ伝承

東日本大震災の震災遺構の多くが学校であり、被災前とは別な形で学びを提供する場として利用されている。一方で、教訓の次世代への継承のためには「学校教育への組み込み」が重要視されており、学校被災の教訓を全国の学校現場へ共有する交流会も始まっている。震災伝承、防災教育の拠点である学校に着目し、当事者である学校教員及び児童生徒を通じて、改めて、被災前の教育、被災時の行動、被災後の伝承を共有する。

同日
開催

県境横断 震災遺構視察バスツアー

IN 福島県浪江町立請戸小学校 / 宮城県山元町立中浜小学校

シンポジウムの当日には、開催前の午前中に「震災遺構視察ツアー（マイクロバス運行）」を開催します。県境を跨いで2つの震災遺構を見学できる機会です。シンポジウム現地ご参加の方は是非一緒にお申込み下さい。



日時

2024年2月17日(土) 8時10分から13時00分



8:10

山下地域
交流センター

9:10

JR 浪江駅

9:30～10:30

請戸小学校 見学

11:45～12:45

中浜小学校 見学

13:00

山下地域
交流センター

申込
要項

入館料(請戸小 300円 / 中浜小 400円)が必要です。
【要申込】申込・詳細はこちらのQRコードから▶▶▶
※最少催行人数 15人



シンポジウム開催概要【参加無料】

日時

2024年2月17日(土)
13時45分から17時30分(開場13時30分)

会場

現地参加：山元町防災拠点・山下地域交流センター
「つばめの杜ひだまりホール」
オンライン：Youtubeでのライブ配信

参加方法

現地参加：事前申し込み優先(当日参加可)
オンライン：申し込み不要

▼お申し込みはこちら▼



スケジュール

第1部 事例紹介

14:00～15:30

震災を経験した当時の教員と生徒が、経験談とそこから得た教訓を語る



高田小学校

下村 幸子さん(当時教諭)
及川 七聖さん(当時児童)

中浜小学校

井上 剛さん(当時校長)
千尋 真璃亜さん(当時児童)

請戸小学校

佐藤 信一さん(当時教諭)
横山 和佳奈さん(当時児童)

第2部 パネルディスカッション

15:40～17:10

① 次世代が考える伝承の未来



横山 和佳奈さん(当時 請戸小学校児童)
千尋 真璃亜さん(当時 中浜小学校児童)
及川 七聖さん(当時 高田小学校児童)

進行 藤間 千尋 (3.11メモリアルネットワーク理事)

② 学校遺構から考える伝承の意義



佐藤 信一さん(当時 請戸小学校教諭)
井上 剛さん(当時 中浜小学校校長)
下村 幸子さん(当時 高田小学校教諭)
佐藤 敏郎さん(当時 女川第一中学校教諭)

進行 武田 真一 (3.11メモリアルネットワーク代表理事)

総括 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所准教授

17:10～17:15

震災伝承の現状について 中川 政治 (3.11メモリアルネットワーク専務理事)

17:15～17:20

協力・後援

協力 宮城県山元町、山元町教育委員会

後援 復興庁、内閣府政策統括官(防災担当)、宮城県、岩手県陸前高田市、陸前高田市教育委員会、福島県浪江町、浪江町教育委員会、東日本大震災・原子力災害伝承館、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、NHK仙台放送局、tbc東北放送、仙台放送、khb東日本放送、三宅テレビ、Date fm、岩手日報社、福島民報社、福島民友新聞社

主催・問合せ先



☎0225-98-3691 ✉info@311mn.org

〒986-0834 宮城県石巻市門脇町5-1-1

<https://311memorial-network.com/>